



発行所
 大阪府衛生管理協同組合
 編集事務局・広報部
 〒556-0011 大阪市浪速区
 難波中2丁目7-25
 TEL 06-6633-2460
 FAX 06-6633-1652

万博に浄化槽を

大阪府衛生管理協同組合理事長 米田健司



5月の組合総会におきまして、さらに1期2年、理事長を仰せつかりました。よろしくお願ひ申し上げます。

さて、わが国最大の国際会議G20サミットも無事終了いたしました。関係者の皆様のご努力、ご苦労はいかばかりであつたらうかとお察し申し上げます。

戦後ずっと低迷とか地盤沈下とか言われてきた大阪ですが、インバウンドの影響もあったので、少しでも持ち直してきたような気がしています、大変うれいことだと思っております。

それに加えて昨年は、大阪万博が6年後の2025年に開催されると決まりました。会場は大阪湾を埋め立てた夢洲が予定地だそうです。1970年の大阪万博を知る者に

とっては、このような象徴的なイベントが、オリンピックのような二週間ほどでなく、半年も続くことは、大阪の経済や文化にとってまたとない素晴らしい刺激になると思います。

私は、家業の清掃業を継いで、ずっと衛生畑の仕事をしていきますので、このようなイベントの報道を聞くとそこの廃棄物の処理、特にし尿や汚水の処理のことを考えてしまいます。

夢洲のような既存の陸地から離れた人工島で、給排水を整えらるとなると、上水の方は陸から送るより仕方がないでしょうが、排水の方は現地処理をするか排水管を延長して陸で処理するかになります。それも、通常のように上から下へ流す自然流下はできません。それに、イベントのような一時的な使用となれば、閉幕と同時に下水道は使われず、余剰設備となってしまう。

海上都市での排水処理の先例としては、関西国際空港があります。7万7千人槽の

対応することが出来ます。要するに使う施設・建物の浄化槽だけを稼働させればよいからです。

その意味で、一定の期間だけ特定の用途に使われて、そのあとはまた別というときには、私がかねてから申し上げているような、クラウド的な処理が望ましいのではないのでしょうか。

以前にもお話ししたことです。1ha当たり75人の人口がないと、下水道は資本費から見て割高になってしまうそうです。1haつまり1万平方メートル(百メートル四方)あたり75人という人がまばらな場所という印象ですが、約40坪です。どのくらいの広さかといえば、郊外で敷地が50坪くらいの住宅地をよく見ます。この広さから道路や公園の分を引くと自宅用に、一人が占める広さとしてはせいぜい30坪となります。この大阪でも、郊外の住宅地でちょっと広めで、核家族化していたりすると、どこにでもありそうな人の密度です。

万博終了後の会場がすぐ人の集まる場所になるとも思えません。インバウンドの外国人需要か国内の観光客をターゲットにするのが順当なところでしょう。しかも今の日本は高齢化と人口減少の真ただ中です。大きな負の遺産を抱え込まないことも次世代のために考えないといけないでしょう。

私達の業界も、右肩下がりとか逆風とか言われるようになって久しくなりましたが、「飛行機は追い風ではなく、向かい風によって飛び立つの

だ」との言葉があります。今の逆風は、「さあ飛び立て！」という合図なのかもしれせん。

さいわいと申しますか、平成26年1月には、農林水産省、国土交通省、環境省の3省統一の「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」がとりまとめられ、浄化槽見直しの方向が出されました。変化の兆しとも思えます。

「君子は豹変する」という言葉もあって、今は、何事も速度と変革の要求される時代です。だからこそ、社会の変化への柔軟な対応の例として、万博会場で浄化槽が活躍する姿を見たいものです。そう言った時に、苦しい長い時代も磨いてきた、浄化槽についてのノウハウを再び生かして、組合員の皆さんの仕事にもう一度光が当たるようになると思っております。いつか、これが大阪における汚水処理の転換点だった、と振り返る日が来るでしょう。その時は、「三月の風に吹かれ四月の雨に打たれて五月に花が咲く」こととなります。

令和という新時代を迎えて、今まで以上に事業のコンプライアンスはもろろんのこと、下水道管理に引けを取らないだけの浄化槽の管理・清掃の技術を高めていく必要があります。そのことで、この業界が新たな次元に展開できることを願ってやみません。

最後になりましたが、暑さ厳しき折から皆さまの益々の御多幸をお祈りいたしまして私の挨拶とさせていただきます。

残暑お見舞い申し上げます (令和元年)

顧問	監事	監事	理事	副理事長 総務委員長	理事	理事	理事	理事	副理事長 広報委員長	理事	理事	理事	副理事長	理事
藤野静男	柿花江美	瓦谷昇次	菅直人	片山敏	蓬萊谷勝玄	辻貴之	永田伊智朗	野中久泰	松藤公成	齋藤純代	森広治	三ツ川浩一	榎木隆弘	米田健司

理事会のあゆみ

定例理事会の開催状況

- ・平成30年4月19日
 - ・平成29年度決算報告及び30年度予算案について、いずれも総会提出の案として承認。
 - ・第54期通常総会について、総会運営の手順、役割分担についての打合せ。
 - ・報告等
 - ・堺市上下水道局での堺市との浄化槽にかかる懇談の報告。
- ・平成30年6月20日
 - ・(理事研修)「法令順守、特に市民との関係性を意識して」
 - ・木村、酒井両弁護士を講師を迎え、市民の目線を意識した法令順守について研修を行った。なお要旨は、各組合員宛て配布済み。
 - ・平成30年度事業として建設団体等への仮設トイレ、浄化槽についての啓発をおこなう。
 - ・滞納組合費の回収について平成30年7月18日
 - ・(理事研修)「事業承継税制について」
 - ・協田税理士から平成30年度税制改正による特例措置の解説があった。なお要旨は、各組合員宛て配布済み。
 - ・組合費滞納にかかる定款の見直しについて
 - ・組合ニュースの原稿案が承認。
 - ・大阪府北部地震の被害状況について報告。
- ・平成30年9月19日
 - ・平成30年度事業として、仮設トイレと浄化槽最終清掃の啓発資料が府から発行されたので、これを活用し建設業界への啓発を進める。
 - ・その他報告等
 - ・サミット開催に伴う交通規制について
 - ・9月4日に大阪を通過した台風21号の被害状況と業務への影響について情報交換
- ・平成30年10月17日
 - ・災害対応への取り組みとして自治体との災害協定の締結状況について情報交換する。今後、災害協定を締結しないし改訂する際の組合としての留意事項を整理検討する。
 - ・その他報告
 - ・大清連研修会の概要報告。
- ・平成30年11月22日
 - ・府下自治体のし尿にかかる発注について委託費等の見直しを求め要望書を検討していく。また将来的に災害協定の見直しを進める。
 - ・生し尿汲み取り料金と消費税について、住民負担分の消費税が汲取り業者の負担になっている事例が報告された。
 - ・その他報告等
 - ・年末年始の組合事務所業務中浜流注場投入券の取扱いについて
 - ・野中副理事長、辻理事が大阪府環境衛生功労者表彰を受章された。
- ・平成30年1月16日
 - ・委託料等の見直しについて、

自治体へ提出する案文が検討され、また各地域の実情について調査することになった。

災害協定の改定について府に申し入れを行ったとの報告があり、また協定のあり方について、意見交換を行った。

組合費滞納にかかる対応

平成31年2月20日

- ・一廃(し尿関係)について)の取り扱いについて建設業界へ啓発したこと、府へ災害協定の改定について申し入れたこと、また「自治体への要望書」について作業中であるとの報告があった。
- ・平成31年度事業として自治体が発注する一廃処理費用等の改善をめざす。

令和元年度(第55期)通常総会開催

今後とも自治体に対し、十の趣旨啓発を進める。組合員向け法務研修を行う。

その他

GWに伴う各種日程調整。組合費滞納にかかる対応。

平成31年3月20日

- ・次期総会について
- ・第55期総会開催地と親睦旅行の行程について検討。
- ・事業関係について
- ・「要望書」については行政や地域住民に配慮しつつブロックで調整して行う。
- ・今後、議会関係にも十・八通知の啓発を図っていく。研修について組合員への内容配布だけでなく、直接語りかける形をとる。
- ・報告等
 - ・組合員の動向、十連休対応。組合費滞納にかかる対応。



令和元年五月二十九日(水)午後三時、兵庫県神戸市有馬町「有馬グランドホテル」にて開催された。

令和元年五月二十九日(水)午後三時、兵庫県神戸市有馬町「有馬グランドホテル」にて開催された。

定刻に至り司会の片山副理事長が開会を宣し、本日の出席状況を報告(出席、委任状)、総会の成立を告げた。米田理事長挨拶、祝電披露の後、議

今回の改選による新役員と所属

役職名	氏名	所属会社名
理事長	米田 健司	(株)SYC
副理事長	榎木 隆弘	榎木工業(株)
〃	野中 久泰	北摂衛生(株)
〃	片山 敏	藤野興業(株)
理事	永田 伊智朗	(有)永田清掃
〃	三ッ川 浩一	(株)三ッ川工業所
〃	辻 貴之	(株)両国設備
〃	森 広治	(株)ナガタキヤ
〃	齋藤 純代	近畿興業(株)
〃	蓬萊谷 勝玄	蓬萊谷清掃(株)
〃	菅 直人	(有)上野衛生
〃	松藤 公成	松藤工業(株)
監事	瓦谷 昇次	(株)瓦谷衛生社
〃	柿花 江美	岸和田設備工業(株)
顧問	藤野 静男	藤野興業(株)

結果報告があり、可否を諮ったところ異議なく承認された。

第3号議案 令和元年度事業計画案が事務局から説明があり、可否を諮ったところ異議なく承認された。

第4号議案 令和元年度収支予算案について協田顧問税理士から説明があり、可否を諮ったところ異議なく承認された。

第5号議案関係

本年は、役員改選に当たっており、総会での理事選出後、別室にて臨時理事会が開催され前同様に正副理事長が留任することになった。結果は会場に直ちに報告され、米田理事長からは「三人寄れば文殊の例えどおり、皆さんと手を携えて進んでいきたい」との挨拶があった。

ふだんは組合員同士一堂に会する機会も少ないため、席上活発な意見・情報交換があり有益な助言や将来に向けた構想などが語られた。

総会終了後は、まずは六甲に沈む夕陽を浴びながら名湯でしばしくつろぐ。さすが摂津の国兵庫、海も山もあるゆえ山海の珍味に舌鼓を打ったそのあとは、いつもなら二次会へなだれ込むところ、日本三名泉ならではの魅力に逆らえずポツリポツリと脱走兵。かたやそれを尻目にポップス、演歌のオールスターショーのゴールデンタイム。一方では尽きせぬ話題に花が咲き時の過ぎるのをついっと思い忘却。



令和元年度通常総会開催記念写真

明けて翌30日は、神戸海洋博物館とカワサキワールドの見学。昼食は、神戸牛のすき焼きを頂く。さすが本邦三大ビールだけに密かにお代わり組も出現。それゆえ旅行社は去年の汚名挽回、面目丸立ち欣喜雀躍。

いやはや、人間の舌は正直なもの。満座の声。

帰途は道路工事の渋滞を避けようと、一路難波へ。車中は当然、恒例のビンゴ。賞品を狙って鶴の目鷹の目、満腹なれど目はランラン。グルメパワーで盛り上がること盛りあがること。賞品尽きたところどころでちょうど到着。みなさまおつかれさまでした。

バスも自家用車も全員無事で、感謝します。

【受入槽定期清掃】

令和元年9月18日(水) 11月20日(水)

令和2年3月25日(水)

【貯留槽定期清掃】

令和2年1月22日(水)

※なお、清掃日当日は終日搬入停止となります。

中浜清掃日程

九月以降の流注場の清掃予定が次のとおり。

投入の各組合員は、日程に合わせ計画的な作業をお願いします。

北摂支部勉強会

7月30日(火)、摂津市市民文化ホールにて経営コンサルタンの青木孝之氏を招き中小企業におけるBCP(事業継続計画)のあり方について勉強会を開催した。13社19名が参加。